

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～18℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---月夜間とシケで出漁しなかった。
- イカ釣-----月夜間とシケで出漁日数が少なかった。スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり63kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり155kgの水揚げで、前週の3%（前年を下回った）。
- 定置網-----五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり390kgの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり51kgの水揚げ。
- 一本釣-----北松宇久地区では、イサキが1日当たり132kgの水揚げで、前週の4.1倍（前年並み）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり13kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- 延縄-----北松小値賀地区では、アカムツなどが1日1統当たり67kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/28～3/2）の沖合イカ釣は、船凍船は切揚。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田・隠岐周辺にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣船 1日2隻入港、総計180箱。1航海最高100箱、平均90箱、スルメ（20・25・30入）180箱。

（漁業情報サービスセンターより）